

広島県立広島商業高等学校がキャリア教育に関する 文部科学大臣表彰を受賞しました！

広島県立広島商業高等学校が、「第14回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞しました。この表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA団体等に対して、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰することにより、キャリア教育の充実を促進することが目的とされているものです。

受賞団体の紹介は、令和4年1月25日（火曜日）13時から、オンラインによるライブ配信にて行われる「令和3年度キャリア教育推進連携シンポジウム」内で執り行われることとなっています。

○ 広島商業高等学校の受賞理由（文部科学省ホームページより引用）

生徒の社会的・職業的自立に向けた資質・能力を育成するため、広商デパート等をはじめとした実践的・体験的な職業体験を実施している。また、生徒の論理的思考力や創造的思考力、起業家精神を育成するための各種プログラムを行うとともに、卒業生やPTA、同窓会等と連携したキャリア育成プログラムを実施するなど、生徒のキャリア教育を組織的・系統的に展開している。

(1) 各種プログラムによる組織的・系統的なキャリア教育

令和2年度より商業単科校4校による商業教育の充実に向けた探究学習の取組を進めており、中でも当該校は、広島県の商業高校拠点校でありリーダー校としての役割を担っている。1年次「ビジネス探究プログラム」では、各時間における「本質的な問い」を設定し、「なぜ学ぶのか」や「学びと社会との関わり」を考えさせることによって、自己のキャリア形成に寄与している。また、2年次「アントレプレナー・エッセンシャルズ」では、米国NFTE社の起業家精神育成プログラムを活用して、生徒の論理的思考力や創造的思考力を育てるとともに、自身のアイデアが社会に与えるインパクトを考えさせるなど、変化の激しい社会に柔軟に対応するための資質・能力の育成を意図している。

(2) 地域の課題解決に向けたビジネスプランの作成

地域における課題を主体的に発見し、解決する力を育成している。また、商業研究部の活動においては、地元企業・団体と連携し、事業アイデア、ビジネスプランを作成・提案し、実施する取組を継続的に行っている。近年では、江田島の活性化に向けた取組、令和3年度は、コロナ禍における花の需要の激減、大量廃棄の課題解決に向けて「LOSUVO FLOWER（ロサボフラワー）」を立ち上げた。小売店・中央卸売市場・花農家への取材をもとに仮説を立て、市場調査を行い、地元テレビ局の取組を取材し、ビジネスプランを作成し、活動をスタートさせた。仮説を検証し、活動を継続している。校内では、商業研究部の取組にとどまらず、各授業（ビジネス探究・商品開発・課題研究等）においても横断的に取り組んでおり、地元への理解・愛着・誇りを育むとともに、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成を意図している。

(3) 広商デパート等の実践的・体験的な職業体験

実践的・体験的な学びを通して、生徒は自身の学びの意義や目的を再認識するとともに、自己のキャリア形成に資するため、広商デパート等の販売実習を展開している。令和3年度は、外部企業と連携し、ウェブデザインやマーケティングの手法を用いた本格的なインターネット販売を展開し、コロナ禍における制約も好機と捉え、生徒のキャリア形成に寄与している。



【ビジネス探究プログラムの様子】



【商業研究部が発案した「LOSUVO FLOWER」】



【広商デパートオンラインショップ】